

あとがき

日耳鼻のキャンペーン活動として、7月から難聴啓発キャンペーンが始まります。難聴は認知症と関連し、早期対策が重要だとの認識が社会的に徐々に高まってきたと思いますが、日本は先進国のなかで補聴器の普及率が極端に低いことがよく知られています。超高齢社会で加齢性難聴が増加していくのは間違いなく、今回のキャンペーンで高齢者の補聴器装用率が上がることが期待されていますが、それほど簡単にはいかない可能性があります。

騒音性難聴対策も同様にキャンペーンとして推進されていますが、騒音性難聴（音響外傷）は予防可能なのに対し、加齢性難聴の予防法は確立していません。ほぼ唯一の対策法である補聴器装用は、普及率の低さのみならず満足度の低さも大きな問題であり、その補聴器調整の問題を解決しなくては、加齢性難聴対策として全く不十分です。白内障、緑内障への治療法や予防法がある眼科領域の老年疾患とは、残念ながら大きな差があります。以前私たちが行った検討では、補聴器の装用効果に不満がある患者さんの補聴器は、補聴器認定技能士が調整しているにもかかわらず実に9割を超える補聴器が「不適合」状態であったことが判明しました。補聴器を専門的に調整できる言語聴覚士も圧倒的に数が少ないという厳しい現実もあります。今回のキャンペーンが、「補聴器の装用率が上がったが満足度がさらに下がった」という結果にならないよう、補聴器調整をしっかりと行える専門家を身近に見つけておくことが重要です。

さて、今月の特集は「必携！ 唾液腺診療 虎の巻」です。唾液腺診療は、入り口は簡単ながらも感じますが、内実は奥深く、しっかりと診断をつけ治療を行っているのは簡単ではありません。診断と治療に関する知識を系統だって学び、頭の中を整理しておくことはとても大事だと思います。本特集号は唾液腺診療の最新の話まで網羅しており、唾液腺に関して知識を整理するのに最適な内容になっています。ぜひご一読ください。（大石直樹）

[編集顧問]

坂井 真
八木 聡明
竹中 洋
吉原 俊雄
小川 郁

[編集委員]

丹生 健一
鴻 信義
大石 直樹

本誌は1928年に久保猪之吉によって「耳鼻咽喉科」として創刊され、1988年に「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」と改題いたしました。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科（第96巻 第8号）

2024年7月20日発行（毎月1回20日発行）

定価：3,080円（本体2,800円＋税10%）

2024年年間購読料（増刊号を含む13冊，送料込）

冊子版 45,540円（税込）

電子＋冊子版 個人 47,740円（税込）

電子版 個人 43,626円（税込）

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710

（担当 飯村・小路）

販売・PR部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802（編集室）

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

印刷所 三報社印刷(株)

広告取扱 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

別刷取扱 販売・PR部 電話 (03) 3817-5696

「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」ホームページ

<https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/411>

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2024, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為（複写，スキャン，デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行うことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です。また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**[JCOPY]**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

・本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は，そのつど事前に，出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088，FAX 03-5244-5089，info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」は株式会社医学書院の登録商標です。